

SUNSET

— dual overdrive —

USER MANUAL

Rev.C
(Ver.1.2.1)

strymon®

前面パネル

・ A

Aチャンネルのエフェクトを3つのモードから選択できます。

Ge - The Ge overdrive

ゲルマニウム・オーバードライブ

ゲルマニウム・ダイオードの柔らかなクリッピングが特徴で、ローゲイン設定ではドライ信号が混入します。

ゲインをさらに上げるとローミッド帯域が強調され、タイトで分厚いサウンドが押し出されて来ます。

texas - The Texas overdrive

テキサス・オーバードライブ

シングル・ソフトクリッパー（歪み回路）タイプです。歪みのステージの前と後にフィルターがあり、スムーズでダイナミックなサウンドをクリエイトします。

ゲインが増してもオリジナル信号のダイナミクスが保たれるため、ブルースや少しゲインを加えるスタイルに最適です。

ミッドレンジの張りが独特のシグネットチャ・サウンドです。

treble - ブースト回路

低域を除いたトレブル・ブースターです。オーバードライブ・アンプをサウンドをタイトに引き締めたり、後に繋ぐ低域が少しルースなドライブペダルのサウンドをタイトにします。

Toneコントロール・ノブを低く設定すると、広い帯域のブースターとして使えます。

・ B

Bチャンネルのエフェクトを3つのモードから選択できます。

2stage - The 2stage overdrive

2ステージ・オーバードライブ

2stage オーバードライブは、ソフトクリッピング・ステージ後にハードクリッピング・ステージを追加して、歪みが絡み合うオーバードライブを広いゲイン・レンジで完成しています。

イコライジングは、低域を保ちながら力強さをアンプへ伝えます。このオーバードライブは、浅いクリッピングから力強いサチュレーションまでカバーしてくれます。

hard - The Hard overdrive

ハード・オーバードライブ

ハード・オーバードライブは、シングル・ハードクリッピング回路のタイプです。

ゲインが非常に高く、Driveコントロールが最大ではファズの領域に近づきます。

低いゲイン設定ではマイルドで明瞭度の高いトーンが得られるため、守備範囲の広いドライブ・サウンドが得られます。

広いToneコントロールは、ギラギラしたサウンドからなめらかな高域まで調整できます。

JFET - ブースト回路

JFETタイプのクリーン・ブーストです。ダイナミクスとレスポンスはそのままに、ギター信号のゲインを上げたい場合に最適です。

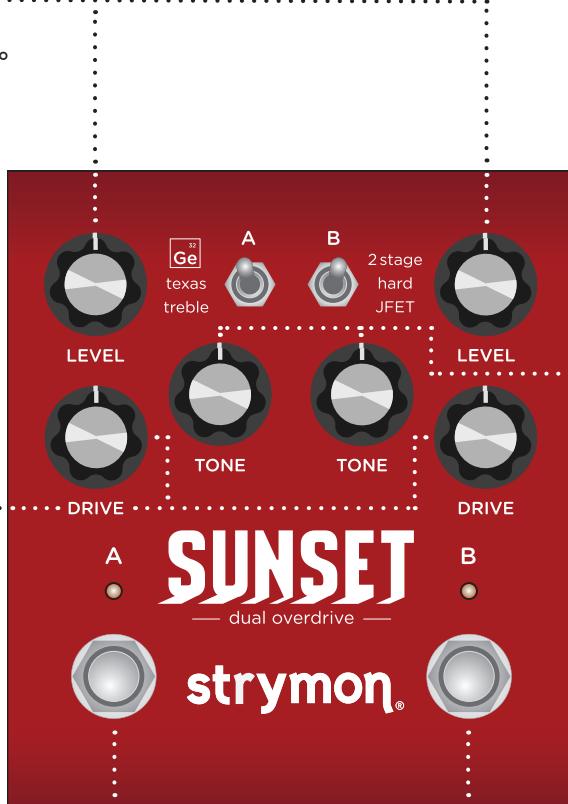
Driveコントロールを上げていくと、サウンドが丸くウォームに変化します。アンプのサウンドに力強さを足したいときに選択すると良いでしょう。



前面パネル

・ **LEVEL (レベル)**

各エフェクトのボリューム・レベル。



・ **DRIVE (ドライブ)**

各エフェクトのゲイン・コントロール。

・ **TONE (トーン)**

各チャンネルの高域を調整します。
選択したモードにより、キャラクターやレスポンスが異なります。

・ **A フットスイッチ**

AチャンネルのエフェクトON/OFFで、リレータイプのトゥルー・バイパスです。

エフェクトONで**レッド**LEDが点灯します。長押しすると、フェイバリット（お気に入り）設定を保存できます。

・ **B フットスイッチ**

BチャンネルのエフェクトON/OFFで、リレータイプのトゥルー・バイパスです。

エフェクトONで**レッド**LEDが点灯します。

背面パネル

・ **BRIGHT (ブライト) スイッチ**

高帯域周波数を調整します。

(-) : 高域をスムーズにします。

center : 一般的な設定です。。

(+) : ウォームなサウンドのアンプ/スピーカーに接続する場合に選択します。

・ **IN (入力端子)**

モノ楽器入力。

・ **OUT (出力端子)**

モノ出力。

・ **FAV IN (フェイバリット) 端子**

Strymon MiniSwitch (別売) を接続すると、フェイバリット (お気に入り) 設定を呼び出せます。

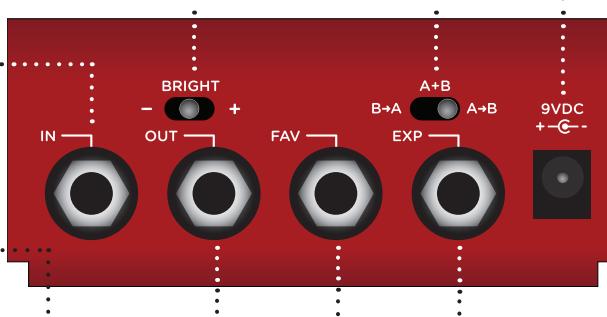
・ **CONFIG スイッチ**

エフェクトの接続順を切り替えます。A+BではエフェクトAとエフェクトBがパラレルに出力されます。

・ **POWER (電源入力) 端子**

9V DC センターマイナスのアダプターを使用してください。アダプターは250mA以上の電流容量が必要です。

プラグは標準サイズの5.5mm x 2.1mmです。



・ **EXP (エクスプレッション) 端子**

スタンダードなTRSエクスプレッション・ペダルを接続するジャックです。モードは以下の2つから選択できます。

エクスプレッション・モード :

コントロール・ノブが外部からコントロールできます。

ボリューム・モード :

出力ボリュームのレベルを操作できます。

ノイズゲートのスレッショルド

Sunsetには、スレッショルドが可変できるノイズゲート機能が搭載されています。プレイしていない時のハムやシステムノイズが解消できます。ダウン・エクスパンションと高度な信号感知テクノロジーで、スタッカートや早いピッキングの信号の変化も、シームレスに無音状態にノイズをカットしてくれます。このノイズゲートの設定は、フェイバリット（お気に入り）でも保存されます。



- 1 A LEDが点滅するまで、Bフットスイッチを長押しします。

Bフットスイッチを離します。

- 2 AチャンネルのLEVELを12時より右にすると、ノイズゲートがオンになります。
- 3 新たなノイズゲート設定を保存するには、B フットスイッチを1回押します。

ノイズゲートはマニュアル/Favorite（お気に入り）それぞれに設定可能です。

ノイズゲートが効き始めると、AフットスイッチのLEDがグリーンからオレンジに変わります。更に、LEVELコントロールを回すとスレッショルドが変わり、ラウドなサウンドやノイズが多いセットアップに対応します。この設定ではLEDがオレンジからレッドに変化します。

ノート: ノイズゲートのセッティングは、フェイバリット&マニュアルセッティング共に保存できます。

パワーアップ・モード バイパス・モードの選択

バイパスのモードを、「バッファード・バイパス」と「トゥルー・バイパス」から選択することができます。
 「バッファード・バイパス」は、複数のエフェクターを接続する時や、長いケーブルの使用時に起こる高域ロスを抑えることができます。

- 1 Bフットスイッチを押しながら電源をONにします。



- 2 BチャンネルのLEVELを回して、バイパス・モードを切り替えます。

左 (LEDはグリーンに点灯) :
 トゥルー・バイパス
 (デフォルト設定)

右 (LEDはレッドに点灯) :
 バッファード・バイパス

- 3 AまたはBのフットスイッチを押すと設定が保存され、Sunsetは通常に起動します。

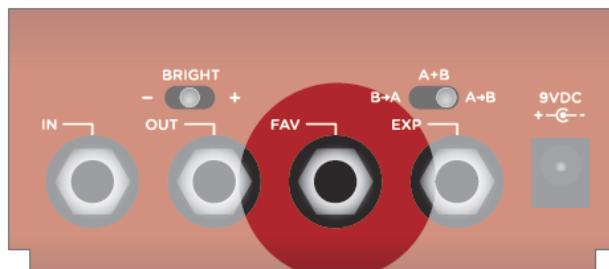
ノート: パワーアップ・モードで行う設定は、次のパワーアップ操作での変更まで設定は保存されます。

フェイバリットジャック・オプション

フェイバリットジャックの役割を決定します。

1

A フットスイッチを押しながら電源を ON にします。両 LED がフラッシュしたらフットスイッチを離します。



2

LEVEL ノブを回して FAV ジャックモードの役割を決定します。LED は以下のように点灯し、役割が設定されます。

GREEN – エクスプレッション・モード

RED – ボリューム・モード

AMBER – FAV イン・モード(デフォルト設定)



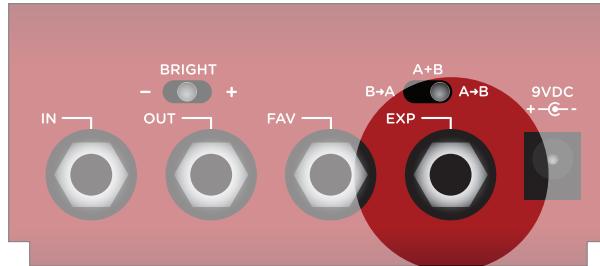
3

A 又は B フットスイッチを再度押し、パワーアップ・モードから出ます。

ノート：V1.0 ファームウェアでは、エクスプレッション&ボリューム以外のモードはありませんでした。V1.0 は Rev.B のマニュアルをご覧ください。

エクスプレッション・ジャック・オプション

EXP 端子に接続したペダルの動作モードを設定します。



- 1 A フットスイッチ を押しながら電源を ON にします。両 LED がフラッシュしたらフットスイッチを離します。

- 2 B チャンネルの LEVEL を回して、EXP のモードを切り替えます。

GREEN – エクスプレッション・モード

RED – ボリューム・モード
(デフォルト設定)

Blue – MIDI モード

- 3 A または B のフットスイッチ を押すと設定が保存され、Sunset は通常に起動します。

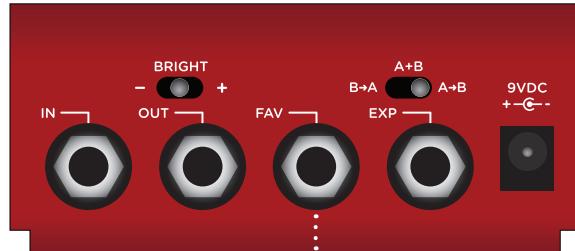
注意：電源投入時の設定は、電源を切っても保存されます。

ノート： V1.0 フームウェアでは、MIDI のモードはありませんでした。V1.0 は Rev.B のマニュアルをご覧ください。

FAV (フェイバリット) スイッチの設定

Strymon MiniSwitch(別売)を TRS ケーブルで接続すると、フェイバリット(お気に入り)の呼び出し(リコール)が可能です。

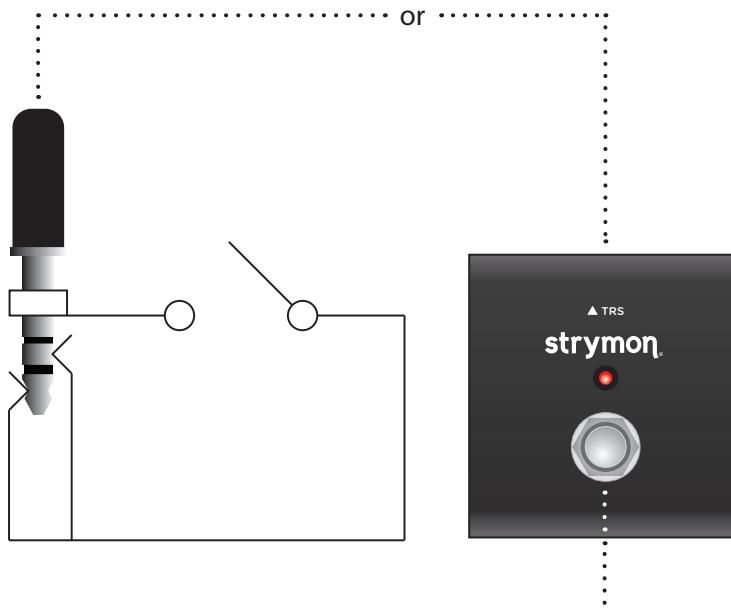
- 1 Strymon MiniSwitch (別売り、TRS ケーブル使用) をSunsetのFAV端子に接続します。



- 2 Sunsetをお好みの設定にセットします。

- 3 Aフットスイッチを長押しすると、フェイバリット(お気に入り)設定が保存されます。

- 4 Strymon MiniSwitchから、本体の設定とフェイバリット(お気に入り)を切り替えます。



ノート: 本体のコントロール・ノブやトグルスイッチだけではなく、BRIGHT、CONFIG、バイパス設定、全てフェイバリットとして保存されます。

ノート: MIDIを使う場合のプリセット保存方法は異なります。MIDIセクションをご覧ください。

比較モード

ペダルをフェイバリット(お気に入り)モードで使用している際に、ノブやスイッチを動かした後に保存した位置に戻ると、LEDはレッドからグリーンに変わります。

エクスプレッション・モード

TRS タイプのエクスプレッション・ペダルを接続すると、任意のコントロール・ノブをペダルからリアルタイム操作が可能です。

- 1 EXP ジャックをエクスプレッション・モードにします。

- 2 エクスプレッション・ペダルを、SUNSETの EXP端子に接続します。

- 3 AとB両方のフットスイッチを長押しすると、両LEDがグリーンに点滅し始めます。

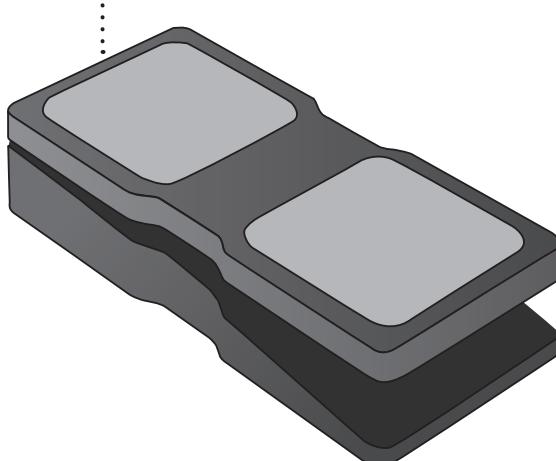
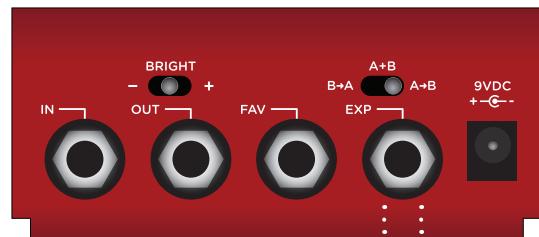
- 4 エクスプレッション・ペダルをヒール側にすると、A側LEDがグリーンに点滅します。

- 5 設定したいノブ（複数可）を触ってヒールポジション時の設定を行います。するとA側LEDはレッドに変わります。

- 6 エクスプレッション・ペダルをトウ側にすると、B側LEDがグリーンに点滅します。

- 7 設定したいノブ（複数可）を触ってトウポジション時の設定を行います。するとB側LEDはレッドに変わります。

- 8 AまたはBフットスイッチを押すと保存が完了します。



ノート：エクスプレッションの設定はグローバルですので、ノーマルとフェイバリット（お気に入り）どちらのモードにも影響します。

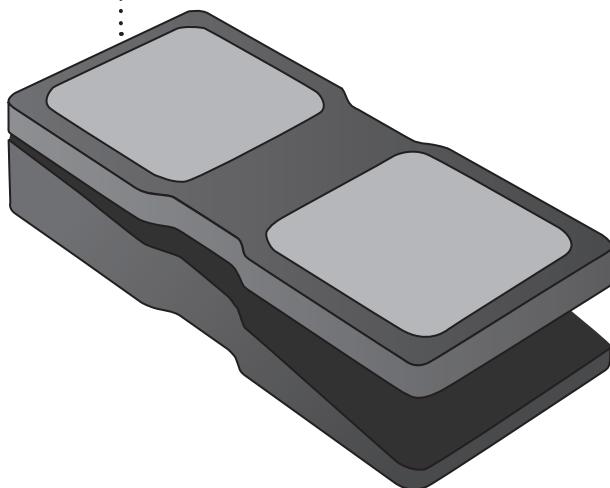
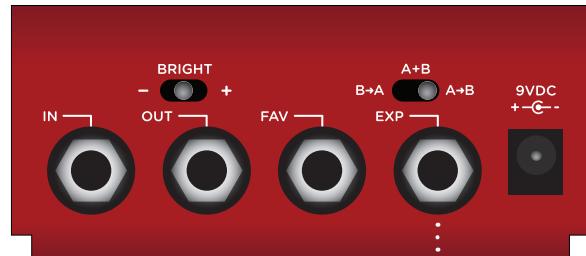
ノート：EXPをMIDIで使用している際は、FAVジャックにエクスプレッションペダルを接続できます。

ボリューム・モード

TRS エクスプレッション・ペダルで出力ボリュームをコントロールします。

- 1 TRSケーブルを使用して、EXP端子にエクスプレッション・ペダルを接続します。

- A フットスイッチを長押ししながら電源を入れると、A&B 両 LED が点滅し始め、EXP を Volume モードに設定できます。
- フットスイッチを離し、B チャンネルの LEVEL を 12 時のポジションにセットします。
- フットスイッチか外部フェイバリットスイッチを押して設定を完了します。



ノート：本機がバッファードバイパス・モードで、エクスプレッションジャックがボリューム・モードの場合は、バイパスでもエフェクトオンでも、ペダルはボリュームペダルとして動作します。

ノート：EXPのデフォルト設定はボリューム・モードです。EXPジャックの役割が変更された場合は、ボリュームペダル用に戻すには、改めて（ボリューム・モード）への変更が必要です。

ノート：EXPジャックをMIDIに使用している場合は、ボリュームコントロール用にFAVジャックが使用できます。

工場出荷時の状態にリセットする

パワーアップ・モードとセカンダリー機能を、工場出荷時と同じ設定にリセットします。



- 1 B フットスイッチを押した状態で電源を入れると両LEDが点灯します。

- 2 フットスイッチを放し、AチャンネルのDRIVEを0~100%まで2往復させます。AチャンネルのLEDは、オレンジからレッドに変わります。

AチャンネルのLEDのレッドの点滅が終わるとリセットは完了です。Sunsetは通常に起動します。

工場出荷時の設定

- EXP入力ジャック：ボリュームペダル・モード
- FAV入力ジャック：フェイバリット・イン・モード
- エクスプレッション・ペダル・モード割り当て：DRIVE制御
- ノイズゲート：OFF
- バイパス・モード：トゥルー・バイパス
- MIDIチャンネル：1
- MIDI エクスプレッションOn/Off：On
- MIDI出力モード：Off

製品概要

- ・ 2つの独立したエフェクトを個別に操作、A、Bのカスケード接続&ブレンドが可能
- ・ A&Bチャンネルのシリーズ、リバース・シリーズ、パラレルの接続が選択可
- ・ 6種類のドライブ回路トポロジー・アルゴリズムがクリーンからヘビー・ディストーションまでカバー
- ・ 接続するアンプによってトーンを調整できるBRIGHTスイッチを装備
- ・ エクスプレッション・ペダル入力ジャックから複数のモーフィング・コントロールが可能（エクスレッショナ・モード）、スムーズなボリューム・コントロール（ボリューム・モード）
- ・ フェイバリット（お気に入り）プリセットをリコールするFAV INジャック（別売りstrymon MiniSwitch推奨）
- ・ スレッシュワード設定が可能なノイズゲート機能
- ・ 超高音質アナログ入出力セクション
- ・ 超低ノイズ24-bit 96kHz A/D&D/Aコンバーターを採用
- ・ スーパー・ハイパフォーマンスSHARC DSPを採用
- ・ 軽量、堅牢なアルマイト処理アルミシャーシを採用
- ・ トゥルー・バイパス
- ・ アナログ・バッファード・バイパスに設定可能

スペシフィケーション

入力インピーダンス	500k Ω
出力インピーダンス	100 Ω
A/D & D/A	24-bit 96kHz
最大入力レベル	+8dBu
周波数特性	20Hz to 20kHz
DSPパフォーマンス	1585 MegaFLOPS
バイパス	トゥルー・バイパス（電子リレー・スイッチング）
サイズ	102mm（幅）×114mm（縦）×67mm（高）※突起部含む

電源アダプター

入力電圧：9VDC センターマイナス、250mA

Appendix 1

MIDI ファンクション

MIDI – SUNSET MIDI 使用法

1.2 ファームウェアは、SUNSET で保存可能な300 のプリセットのリコール/ ロード、コントロールノブ設定の変更が、EXP ジャックを通じてMIDI メッセージで行えます。これにはMIDI コントローラー/ インターフェース (1/4" ジャック出力仕様)、又はStrymon MIDI EXP ケーブルが必要です。必要なアクセサリーの情報はstrymon.net/support/sunset をチェックしてください。

最新ファームウェアをインストールする場合はstrymon.net/firmwareupdate にアクセスしてください。

Step 1 – EXP ジャックを MIDI モードに設定する

10 ページの EXP ジャックの å 設定をご覧ください。EXP ジャックを MIDI モードに設定します。

1. A フットスイッチを長押ししながら本機の電源を入れます。
2. B側のLEVEL ノブを、ON LED が **BLUE** に点灯するまで廻すと、EXP ジャックはMIDI モードに設定されます。
3. いずれかのフットスイッチを押し、この設定を完了します。

Step 2 – MIDI Channel (チャンネル) の設定

MIDI メッセージの送受信に使用する MIDI チャンネルを決定します。本機のイラストを見ながら説明をお読みください。

ノート： MIDI チャンネル 4-16 を選択する際は、本機を MIDI デバイスとの接続が必要です。

- 1** B フットスイッチを長押ししながら本機の電源を入れます。両 LED がフラッシュしたらフットスイッチを放してください。



- 2** LEVEL ノブを回して MIDI 送受信チャンネルを決めます。チャンネルが切り変わると両 LED がフラッシュします。

GREEN - Channel 1 (デフォルト設定)

AMBER - Channel 2

RED - Channel 3

BLUE - チャンネル 4-16 (1 / 4" - MIDI ケーブル接続が必要です。) LED は指定 MIDI チャンネルを受信するまでに点滅します。MIDI チャンネルが決定されると点滅は止まります。

- 3** B フットスイッチを改めて押して、MIDI チャンネルの保存が完了します。

本機から MIDI メッセージを送る場合の設定をここで行います。本機が MIDI メッセージを受けるだけの場合（一般的な使用方法）は、MIDI Output（出力）モードは OFF に設定します。

Step 3 – MIDI Output モードの設定

- A フットスイッチを長押ししながら本機の電源を入れます。両 LED がフラッシュしたらフットスイッチを放してください。



- TONE ノブを回して、本機から送る MIDI メッセージを決めます。モードが変更されると、両 LED が一瞬フラッシュします。

GREEN – ON : 本機のノブやスイッチが MIDI メッセージを出力します。

AMBER – THROUGH : 本機が受けた MIDI メッセージをそのまま出力します。

RED - OFF (デフォルト設定) : 本機から MIDI メッセージは出力させません。

TIP: 簡単な確認例を紹介します。FAVORITE フットスイッチが Off の時に、本機が MIDI CC#102 で 127 を受けると、FAVORITE スイッチは On になります。

MIDI 接続が正しければ、これが正常に動作します。試してみてください。

MIDI – エクスプレッション On/Off

MIDI エクスプレッション・メッセージへの応答を設定します。MIDI エクスプレッション・メッセージを複数のペダルに同 MIDI チャンネル応答させる設定で、特定のペダルがプリセット毎に応答するようにできます。

- B フットスイッチを押してホールドします。両 LED が点滅したら ON フットスイッチを放します。



- DRIVE B ノブを廻し、MIDI エクスプレッション・メッセージへの応答 (CC #100) を以下のように決定します。

RED – 本機は MIDI エクスプレッション・メッセージに応答しません。(一瞬、点滅します。)

BLUE – 本機は MIDI エクスプレッション・メッセージに応答します。(デフォルト設定、一瞬、点滅します)

- B フットスイッチを押して、設定を保存します。



NOTE: 本機のファームウェアバージョン (v1.0 or 1.2) は、MIDI エクスプレッションの設定で簡単に確認できます。v1.0のファームウェアは、DRIVEノブを回してもBのLEDは暗いままです。

MIDI モードに於けるプリセットの保存

- MIDI モード内に於いて、300 個ある各プリセットロケーションに保存できます。
- SAVE (保存) モードに入るには、A フットスイッチを長押しします。すると LED が **BLUE** に点灯します。
- 本機に接続されている MIDI デバイスからパッチ変更を受けます。メッセージを受信しプリセットロケーションに保存されると、LED がフラッシュします。
- 現プリセットロケーションに本機の設定を保存する場合は、FAVORITE フットスイッチを押してください。

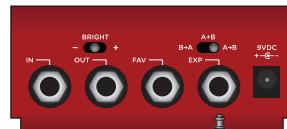
MIDI – 外部デバイスからのMIDIコントロール

SUNSET を外部 MIDI デバイスと接続する場合は、図のように MIDI out ジャックから SUNSET の EXP ジャックに以下の方法で行います。

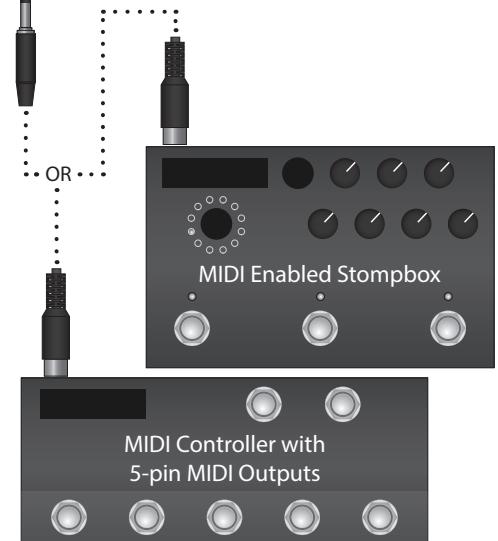
- Strymon MIDI EXP ケーブル
- 5-pin MIDI → 1 / 4" MIDI インターフェース
(strymon.net/support/sunset で使用できるデバイスが公開されています。)

本機を MIDI ソースに接続したら、まず MIDI チャンネルを選びます。本機のデフォルト設定は MIDI チャンネルは『1』です。(15 ページ参照)

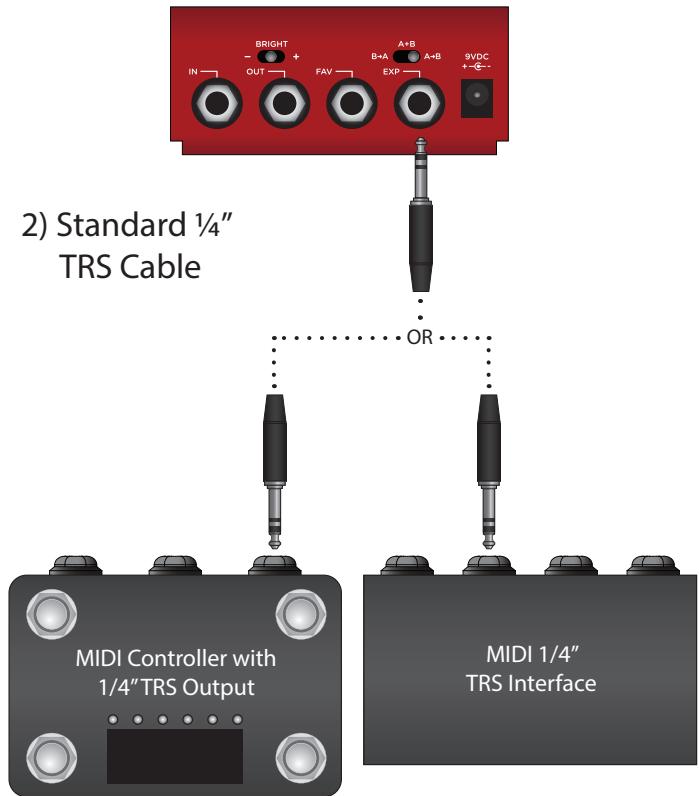
SUNSET のデフォルト設定は MIDI スペシフィケーションをご確認ください。(19 ページ参照)



1) Strymon MIDI EXP Cable



2) Standard 1/4"
TRS Cable



NOTE : SUNSET が MIDI メッセージを受けるだけの場合は、MIDI Output モードをオフにしてください。(16 ページ参照)

MIDI – スペシフィケーション

MIDI パッチチェンジ

本機 SUNSET には 300 のプリセットロケーションが存在します。それらのナンバーは 0-299 です。MIDI プログラムチェンジは 128(0-127) プリセットロケーションしか対応できないため、下記の 3 バンクのシーケンス方式で対応します。

- MIDI BANK 0 = PRESETS 0-127
- MIDI BANK 1 = PRESETS 128-255
- MIDI BANK 2 = PRESETS 256-299

本機は電源投入時に MIDI Patch Bank 0 が立ち上がります。ですから、初めの 127 プリセットを使うのであれば、スタンダードな MIDI プログラムチェンジでプリセットをロードしましょう。

上記の MIDI Banks 1 and/or 2 を使用するのであれば、MIDI プログラムチェンジの前に MIDI Bank Change メッセージ [MIDI CC# 0 & MIDI Bank#] が必要です。

本機は、Bank 0 & パッチ 127 ではマニュアルモードに入ります。ノブやスイッチが現設定のままの状態になります。このロケーション (127) にプリセットデータは保存できません。

MIDI CC Numbers

A PARAMETERS	CC#	RANGE	NOTES
A Bypass/On	10	0-127	(0=bypass, 1-127=On)
Circuit Select A	11	1-3	(1=treble, 2=Ge, 3=texas)
Level A	12	0-127	
Drive A	13	0-127	
Tone A	14	0-127	
B PARAMETERS	CC#	RANGE	NOTES
B Bypass/On	15	0-127	(0=bypass, 1-127=On)
Circuit Select B	16	1-3	(1=JFET, 2=2stage, 3=hard)
Level B	17	0-127	
Drive B	18	0-127	
Tone B	19	0-127	
COMMON PARAMETERS	CC#	RANGE	NOTES
Config (A/B)	20	0-127	(1=A>B, 2=B>A, 3=A+B)
Bright	21	1-3	(1= +, 2= -, 3=middle)
Noise Gate	22	0-127	(0=off)
Bypass/On A and B	33	0,127	(0=bypass, 127=on)
MIDI Patch Bank	0	0-2	
Volume Pedal	7	0-127	
MIDI Expression Off/On	60	0,127	(0=off, 127=on)
Expression Pedal	100	0-127	

Appendix 2

ライブエディット機能＆パワーアップモード

ライブエディット機能

Secondary Controls (セカンダリー・コントロール) 全てのセカンダリー・コントロールはプリセット毎に保存できます。

Bスイッチを両LEDが点滅するまで長押しします。これでライブエディットモードに入ります。下記の説明のようにノブを使い設定します。再度Bを押して保存して、ライブエディットモードからでます。

NOISE GATE THRESHOLD

NOISE GATE THRESHOLD (ノイズゲート スッレショルド)
LEVELノブ(A)で調整します。ステータスはA LEDが表示します。
(プリセット毎)
Off = **Green**
Engaged = **Amber**
Extreme = **Red**

MIDI EXPRESSION ON/OFF

(Off= ignore CC100)

DRIVEノブ(B)で調整します。ステータスはB LEDが表示します。
Off = **Red**
On = **Blue**

パワーアップモード

電源投入しながら行う設定は下記の通りです。

GENERAL SETTINGS
(一般設定)

B フットスイッチを押しながら電源を接続します。セッティングの保存やモードから出る場合は、いずれかのフットスイッチを押します。

BYPASS MODE
(バイパスモード)

LEVELノブ (B)を廻し設定。ステータスはB LEDが表示します。

True Bypass = **Green** (default)

Buffered Bypass = **Red**

SET MIDI CHANNEL
(MIDIチャンネル設定)

LEVELノブ (A)を廻し設定。ステータスはA LEDが表示します。

1 = **Green** (default)

2 = **Amber**

3 = **Red**

4-16 = **Blue** (MIDI Program Change messageでチャンネル設定)

FACTORY RESET
(ファクトリー・リセット)

DRIVEノブ (A)ノブを2回動かしてリセットします。ステータスはA LEDが表示します。

Turn 1 = **Amber**

Turn 2 = **Red**

Turn 3 = **Amber**

Turn 4 = 両LEDが**Red**点滅。リセット後に再起動。

JACK OPTIONS
(ジャック・オプション)

A フットスイッチを押しながら電源を接続します。保存はいずれかのフットスイッチを押します。

EXP
(8ページ参照)

LEVELノブ (B)を廻し設定。ステータスはB LEDが表示します。

Expression = **Green**

Volume = **Red** (default)

MIDI = **Blue**

FAV
(7ページ参照)

LEVELノブ (A)を廻し設定。ステータスはA LEDが表示します。

Expression = **Green**

Volume = **Red**

Favorite in = **Amber** (default)

MIDI OUT MODE
(16ページ参照)

TONEノブ(A)を廻し設定。ステータスは両LEDがフラッシュします。

On = **Green**

Through = **Amber**

Off = **Red** (default)

Appendix 3
サンプルセッティング

Sample Settings

.....



Heavy Stack



Blues Stack



Fat Stack



Texas Classic

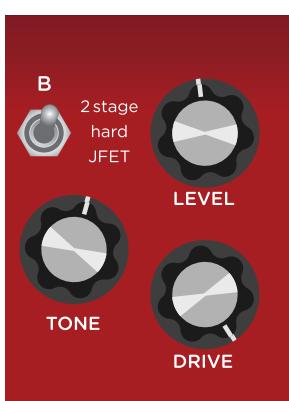
Dirty FET Boost



Defined Fuzz



Thick & Juicy



Harmonic Drive

品質保証に関して

この度は、Strymon / DAMAGE CONTROL 社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
製品を正しくお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。

本製品は、Strymon / DAMAGE CONTROL 日本総代理店・株式会社HotoneJapanが購入後1年以内の品質保証を行っております。修理の際は、購入時の保証書（購入期日及び販売店捺印必須）を提示の上、ご購入の販売店または、お近くの楽器販売店まで御依頼ください。保証書の提示がない場合、保証内であっても1年以内の保証の対象にはなりません。

本書に記載された文章、図版、作品は、全て「著作権」及びそれに付随する「著作隣接権」等の諸権利を保有しています。弊社では、内容を理解することを目的とする使用方法のみを許諾しております。

正規輸入品の保証規定に関する詳細は、当社 Web をご参照下さい。